

2019年10月31日

横浜・みなとみらい地区「京急グループ本社」1階に併設の企業ミュージアム
「京急ミュージアム」2020年1月21日(火)オープン決定!
「本物」を見て、触れて、楽しむ! 京急の魅力が凝縮したミュージアム誕生

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，本社機能を移転した横浜・みなとみらい 21 地区の「京急グループ本社」1階に，企業ミュージアム「京急ミュージアム」を2020年1月21日（火）にオープンします。

「京急ミュージアム」は，「『本物』を見て，触れて，楽しむ」をコンセプトに，京急創立 120 周年事業の一環として整備するものです。館内には，昭和初期から活躍し，約 2 年をかけて修繕作業を行った歴史的車両「京急デハ 230 形」を展示するほか，沿線を忠実に再現した「京急ラインジオラマ」や運転体験コーナー「鉄道シミュレーション」，工作体験ができる「マイ車両工場」など多様な展示や体験を用意し，多くのお客さまに京急グループの魅力を感じていただく施設を目指します。

京急グループ本社には，京急電鉄をはじめとする京急グループ 11 社，約 1,200 名が 2019 年 10 月 28 日（月）に入居を完了し，当社沿線を中心に位置する「エリア戦略」をリードする拠点として機能していきます。

また，京急グループの歴史のほか現在と未来の情報を発信する企業ミュージアムを開設することで，横浜・みなとみらい地区ににぎわいを創出してまいります。また，横浜エリアをはじめとする沿線全域の活性化に向けて，今後も各種施策を実施してまいります。

詳細は別紙のとおりです。



館内イメージ



展示するデハ 230 形

「京急ミュージアム」のオープンについて

1. 施設概要

- (1) 名称：京急ミュージアム
- (2) 住所：横浜市西区高島1-2-8 京急グループ本社1階 ※横浜駅東口から徒歩7分
- (3) 敷地面積：約200㎡（併設するイベントホール含めると約400㎡）
- (4) オープン日：2020年1月21日（火）
- (5) 開館時間：10：00～17：00（最終入場16：30）
- (6) 休館日：毎週火曜（開業日除く）
年末年始および特定日（予定）
- (7) 入館料：無料 ※一部体験コンテンツは有料
- (8) その他：入館方法や各コンテンツの料金支払い方法など、
その他詳細については、随時お知らせいたします。



2. 施設コンセプト

【「本物」を見て、触れて、楽しむ，京急グループの魅力を感じていただく施設】

京急創立120周年事業の一環として、多くのお客さまに、「本物」を見て、触れて、楽しむ、さまざまな展示や体験を通じて、京急グループの魅力を感じていただく施設を目指します。

3. 展示内容

※イラストはすべてイメージです。

(1) 京急ヒストリー

昭和初期から活躍した京急車両「デハ230形・デハ236号」を、約2年かけて修繕作業を行い、保存展示します。また車内には、京急の歴史を紹介するコーナーを設けます。

※デハ236号：昭和4年製造。品川～横浜～浦賀間の直通運転を実現した歴史的車両で、昭和53年に引退後に埼玉県・川口市立科学館で保存されていた車両を修復し展示するものです。



(2) 京急ラインジオラマ

沿線風景のなかに、京急グループ各社の施設や取り組みもあわせた、長さ約12メートルサイズの巨大ジオラマを館内中央に展示します。

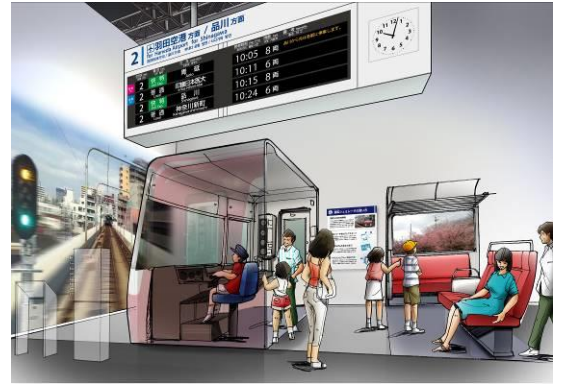
※模型運転体験は有料コンテンツ



(3) 鉄道シミュレーション

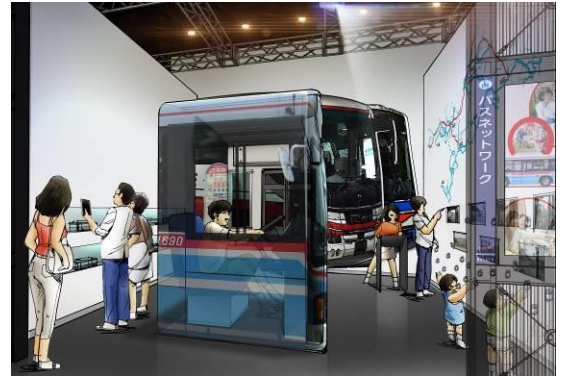
新 1000 形実物運転台による実写映像の運転シミュレーターを設置します。

※有料コンテンツ



(4) バスネットワーク

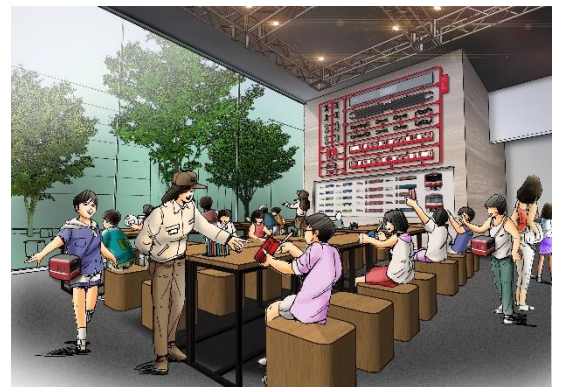
バス運転台再現や映像紹介コーナーを設置します。



(5) マイ車両工場

工作体験ができるワークショップコーナーを設置します。

※有料コンテンツ



(6) ケイキューブ（屋外展示）

京急ミュージアムの中と外をつなぐ展示として、京急電車をモチーフにしたキューブ型のイスを複数配置しました。

※こちらはミュージアムの開業に先立ち公開しております。（見学自由）



以上